



観光は平和への
パスポート

国連世界観光年宣言

JHS たより

平成24年2月6日(20,000部)発行

2012.2 Vol.44

学校法人 日本 ホ テ ル 学 院
発行所／専門学校 日本 ホ テ ル ス ク ル
財団法人 日本ホテル教育センター

〒164-0003 東京都中野区東中野3丁目15番14号 TEL.03-3360-8231(代)
<http://www.jhs.ac.jp> <http://www.jec-jp.org/> FAX.03-3360-8584

学校創立40周年記念行事を盛大に開催

～在校生、協力・支援関係者 1350名を招いて～

東京オペラシティコンサートホールで音楽会



1月4日、学校創立40周年を記念して、東京オペラシティコンサートホールにて音楽会を開催、在校生をはじめ、日ごろ大変お世話になっている官庁、業界、団体、学校、役員、協力企業、近隣、縁者の皆さん1350名に、ヴァイオリニスト松本蘭さんの独奏をまじえ、飯守泰次郎氏の指揮する80人編成の東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の演奏による本格的なクラシックを7曲お楽しみいただき、大きな感動を胸にいただきました。特に今回は、校歌“スマイル・フォー・ユー”を最初の演奏にお願いし、オーケストラ・バージョンを演奏して頂き、校歌に耳慣れた人々には、大変印象深いものになりました。

これまで、学校創立記念行事は、卒業生主体に、教職員と若干の関係者で、全体同窓会を、当初は2年おき、その後5年おきに祝賀パーティ形式で開催してきましたが、40周年記念行事実行委員会の発案により、在校生、日ごろお世話になっている方々を対象に、今回初めてクラシック音楽会を開催したものです。こうして、40周年を迎えたこと、役員及び教職員一同、関係者の皆さんに大変感謝しております。

一層の精進をしてまいりますので、これ



指揮者飯森泰治郎氏

第10回同窓会

出席者1100名・協賛企業に感謝！

校長 石塚 勉

11月11日、グランド
プリンスホテル新高輪・
飛天の間で、第10回全
体同窓会を開催し、1100
名の皆さんにご参加いた
だきました。



今年は、3.11の東日本大震災・原発事故の関係で、40周年記念行事の開催も危ぶまれましたが、これらを中止することよりも、平常の活動を維持し当初計画を完遂することが、間接的に復興への支援活動になるとの認識に立ち、それぞれ実行しました。

本校の同窓会は、比較的参加者が多いと感じています。7回目までは、卒業生の約30%が参加、卒業生が多くなるにつれて%は下がっていますが、900名～1200名と数は多くなっています。今回は、大震災の影響で、1100名とやや少なめでしたが、家族同伴で参加する人達が多く目立ちました。こうした機会に、級友、先生と相互に交流することで、互いの立場を理解し、絆ができ、今後の人生への励みになれば、意義あります。

開催にあたり、海外／国内旅行券、ホテ宿泊券、レストラン食事券など57社より99点の協賛を頂戴しました。また、実行委員会、そして教職員の皆さん、本当にありがとうございました。記念行事も成功裏に終えることができました。感謝、感謝です。



参加者1100名 ご家族同伴での参加者も！

学校創立 40 周年記念音楽会を開催

～東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団による演奏に1,350名の聴衆が感動に酔いしれる～

11月4日、東京オペラシティコンサートホールで開催した、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団による演奏は、日本ホテルスクールの校歌である「スマイル・フォー・ユー」から始まり、アンコールのラデツキー行進曲まで、在校生や来賓など約1,350名の聴衆は感動に酔いしれました。

石塚勉校長の挨拶



石塚校長は「不易流行」の精神、つまり根本的な理念は変えないが、時代や状況の変化に柔軟に対応するという考え方で40年間学校運営にあたってきた。今後もこれを継続していく」と語り、新たな時代に対する挑戦の決意を示しました。



設立当初の功労者 舟原弘氏のご挨拶

一演目一

1 オープニング	JHS校歌 スマイル・フォー・ユー
2 ワーグナー	歌劇 ニュルンベルクのマイスター・ジガー
3 スメタナ	讃詩 モルダウ
4 マスネ	タイスの瞑想曲
5 マラサー＝	ツィゴイネルワイゼン
6 マスカーニ	カヴァレリア・ルスティカーナ間奏曲
7 ラヴェル	ボレロ
8 ヨハン・シュトラウス1世	ラデツキー行進曲（アンコール）



飯森泰治郎氏の指揮による感動的な演奏

専門学校日本ホテルスクール教職員



企画から当日の進行まで教職員一同頑張りました！



ヴァイオリニストの松本蘭さん
美しい調べも印象的でした。

ホール内の様子



本校との関係も深いモルディブ共和国の大天使も来賓として出席されました。



左から 2人目モルディブ大使
His Excellency Mr. Ahmed Khaleel



第20回弁論大会を開催 ～ホテルの総支配人など12名を特別審査員にお招きして～

第20回弁論大会を11月8日、なかのZeroホール（東京・中野区）で盛大に開催しました。記念すべき20回目の弁論大会当日は、ゲスト審査員に外資系ホテルの総支配人をはじめ、業界トップの方々を特別審査員にお迎えし、学生約900名、特別審査員12名、内部審査員4名、教職員約30名、総勢約950名の聴衆を前に日本語部門・英語部門それぞれ5名、計10名の学生が熱弁を振るいました。この弁論大会は、「表現力、語学力の向上」、「世代間の考え方の共通化」などを目的として開始し、今回で20回目を迎えました。



■日本語部門

最優秀賞	田口 奈美さん
優秀賞	土屋 麻愛さん

■英語部門

最優秀賞	新村 了さん
優秀賞	村尾 薫美さん

出場した学生は日本語部門13名、英語部門21名の中から予選で選ばれ、厳正な審査の結果両部門とも、最優秀賞ならびに優秀賞が決定し、それぞれの記念品の盾が石塚校長より手渡されました。



【日本語部門】

氏名	論題
長久 華織	行動すること
松岡 剛士	接客とサービスの違い
金子 洋介	言葉の価値
土屋 麻愛	広げる魅力、広がる魅力
田口 奈美	大切なこと

【英語部門】

七海 華子	To be human
村尾 薫美	We are all Earthlings!
新村 了	Learning is Like a Sport and Language is Part of Life
張 朝祐	Hotel Industry in Japan after the Nuclear Crisis
島田 明美	You Already Have What Others Can Only Dream of

■弁論者紹介■



日本代表に英語専攻科 1年 河野秀次郎さん ～クープ・ジョルジュ・バティスト サービス世界コンクール～

サービスコンクールの最高峰「クープ・ジョルジュ・バティスト サービス世界コンクール」の学生部門の日本代表に英語専攻科1年 河野秀次郎さんが見事選出されました。

学生部門の日本代表は、まず各学校より選抜された19名が応募し、小論文を含む書類選考により10月15日に12名が選出されました。その後10月23日に面接試験が行われ、河野さんは第1位に選抜され代表に選ばれました。

なお、今回の選考においては、第3位にも本校の学生、松岡杏奈さん（英語専攻科1年）が入賞しました。河野さんは2012年11月に日本で開催される世界コンクール

■クープ・ジョルジュ・バティスト サービスコンクール
フランスのホテル産業相互協会組合が運営母体のヨーロッパで最も権威のある、サービス技術を競うコンクールです

ルにおいて、日本代表として15か国（ヨーロッパ、北米、アジア）の代表と競うことになります。

今後、1年先の世界コンクールに向けて様々な練習を積み、世界一を目指します。皆さんの応援をよろしくお願いします！



卒業式典を挙行

～国際ホテルマネジメント専科～

夜間部国際ホテルマネジメント専科の卒業式典を10月6日にホテルニューオータニで挙行しました。卒業生数は16名（男性8名・女性8名）で、1.5年制の課程を修了しました。



■夜間部国際ホテルマネジメント専科は、大学・短大とのダブルスクール、また社会人として仕事をしながら、ホテル業界の就職に向けて学ぶコースです

JAL ホノルルマラソン2011に留学中の学生14名が参加 ～参加者全員完走～



現地時間12月11日午前5時に開催されたJALホノルルマラソン2011に、アメリカ・シアトルに留学中の本校学生14名が参加、全員無事完走しました。

マラソンにチャレンジしたことで「最後まで諦めないこと」、「粘り強く続けること」、さらに「事前準備の重要性」などを体感し、出場した人も応援した人も大きな収穫となったイベントでした。

本校では、参加した学生に対し全員の健



喜びのゴール
挑戦して良かった!!

闘を祈り、連帯感、士気を高めてもらうことを願って、校名入りのランニングシャツを協賛し応援しました。

2年生 学校行事 “体育祭” を実施

～台東リバーサイドスポーツセンター～

2年生を対象とした学校行事“体育祭”を10月25日、台東リバーサイドスポーツセンターで実施しました。

当日は少し汗ばむくらいの暖かな陽気となり、東京スカイツリーが秋晴れによく映えていました。

各クラス毎に作ったオリジナルTシャツで応援にも熱が入りました。



担任も仮装で優勝に貢献！

担任の似顔絵Tシャツ

応援にも熱が入ります

海外留学制度・カナダ

～ダグラスカレッジより関係者が来校～

2012年度からの留学先である、カナダ・ダグラスカレッジより、Christiaan Bernard氏が来校され、来年4月の留学出発に向けてのカリキュラム調整や確認事項など意見交換を行いました。

語学を習得することのみならず、インターンシップや小旅行などさまざまな行事などが企画されているカナダ留学は、留学を希望する学生たちにとって魅力的なプログラムとなります。

Bernard氏は学校の設備や学生の授業風景を見て、ダグラスカレッジの授業と比較し、実践的な授業に驚いていた様子でした。

「2012年度の海外留学が、学生にとって満足のいくものであるよう、JHSとの関係をより強めていきたい」と、話されていました。



プライマル科の授業を見学

世界各国からの訪問者 深まる国際交流

台湾より観光事業経営者が来校

台湾の温泉地として名高い新北市烏来区から巨龍渡假集團（Chun Lung Resort Group）の張銘義氏および新北市烏来区觀光發展協會の高淑敏理事長をはじめ、観光事業経営者のグループ8名が、親交を深めるため来校、意見交換、昼食会、施設見学を行いました。

当日は台湾からの外国人留学生である在校生、昼間部ホテル科1年 林怡姍さんと昼間部ホテル科2年 林淑娟さんが会合に出席し、通訳として協力、活躍しました。



米国投資銀行 モルガン・スタンレーより関係者が来校



国内22のホテルを運営する米国投資銀行 モルガン・スタンレーよりエグゼクティブ ディレクター Kavin C. Bloomer氏が来校、学校の教育プログラムの説明や意見交換、施設見学など実施しました。

Bloomer氏は本校に大変興味を持ち、Bloomer氏自身、自らの経験を次世代の若者に指導をしたいと強い申し出がありました。

施設見学中、昼間部1年生特別授業の料飲サービス演習やプライマルコスメの授業を見学、実技授業や授業風景、学生の雰囲気を楽しんでいました。今後は Bloomer氏を学校に招待し、特別講義の実施を計画しています。

意見交換をする Bloomer氏と石塚勉校長

川上先生、吉岡先生、ダブラー氏、江口先生、石塚校長

ホテルオーラマカオ 総支配人ハーマン・ダブラー氏来校

2011年5月に開業したホテルオーラマカオより、総支配人のハーマン・ダブラー氏が来校しました。今回の来校は、現在ホテルオーラマカオで6名の卒業生が研修生として勤務していますが、彼女たちの評価は非常に高く、ダブラー氏自身より本校とより協力関係を結びたいという意向があり実現したものです。

開業後のホテルオーラマカオの状況や今後の課題、新たな研修生の可能性など広範囲にわたり意見交換を行いました。さらに今後より密な協力関係を築けることを約束しました。



施設を見学する関係者と武内先生

オーストラリア・シドニーのICMS大学より関係者が来校

オーストラリア・シドニーにある International College of Management Sydney(ICMS大学)から、アジア地域担当者2名と日本担当者が本校との連携を求め、来校しました。

2時間以上にもわたる話し合いは、両校の学校概要や特徴などの説明から始まり、ICMS大学からは今後の編入制度や留学制度など様々な提案があり、今後当校と友好的な関係が築ければと、担当者は願っていました。

校内見学では設備の整った教室に驚き、また、教室にいた学生と一緒に写真を撮るなどなごやかな交流をしていました。



食品サンプルに興味津々

JICA研修の一環として海外視察団が来校

東欧のGUAM諸国（グルジア・アゼルバイジャン・ウクライナ・モルドバの4カ国）から12名の視察団を迎える、日本の観光政策やホテル・宿泊産業の状況、ホテル学校教育の実態をセミナー形式で提供し、学校内の施設および授業を視察していただきました。

■ JICA（国際協力機関）は政府開発援助（ODA）の一環として発展途上国あるいは新興国における観光マーケティング分野に携わる中堅幹部の育成に力を入れています。本校はこのような海外視察団の受け入れ研修機関の一つとして積極的に協力をしています。



昼間部プライマル科の学生と

「観光振興とマーケティング」の一環として、海外視察団一行16名が来校しました。

石塚校長の歓迎の挨拶に始まり、武内先生による「日本のホテル業界事情と教育について」のレクチャーへと移り、興味深く聞き入っている様子が伺えました。



自國の国旗を片手に集合写真

その後、校内の各施設や授業見学を行い、「ホスピタリティ実務」の授業見学では、日本の食品サンプルに興味津々の様子でした。

一行は自国の国旗を片手に記念写真を撮り、当校を後にしました。

～JHS同窓会便り～

JHS同窓会主催
創立40周年パーティを盛大に開催
～卒業生、ご家族、来賓、講師、学校関係者、約1,100人が集う～

皆様と共に歩んだ40年。1期生から38期生が集った同窓会、多くの皆様にご来場いただき誠にありがとうございました。また5年後にお会いできることを楽しみにしています



恒例の大抽選会

“ソウル旅行ペア3日間” “ホテルペア宿泊券”など豪華景品99本が!



功労者表彰



長年の功績に蛇原弘氏と石塚勉校長に同窓会より感謝状が贈られました。

海外で活躍する卒業生

インド

インドの高級ホテル「タージマハール・ニューデリー」でセールス・マネジャーとして赴任している、佐藤誠さん(2004年卒業)が来校しました。

佐藤さんは卒業後、ホテルオークラ東京に勤務し、その後本校の紹介でタージマハール・ニューデリーに入社しました。

近年、インドと日本の交流も活発化しており、日本企業、日本政府関係者へのセールス・コールのため来日、タタグループ、タージホテルズ日本代表、日印経団連会長でもある徳原綱男氏と一緒に母校を訪問しました。



シンガポール共和国

三島美樹恵さん(2002年卒業)がマネージャーを務める、シンガポールの日本料理レストラン『厨 ダイニング(Kuriya Dining)』が、シンガポールのレストラン情報誌『Singapore Tatler』による『Singapore Best Restaurants Guide 2012』で Hall of Fame Award を受賞しました。この賞は、シンガポール国内の全飲食店の中から12店舗だけが受賞した、とても輝かしいものです。

三島さんは卒業後、ヒルトン・グアム研修、フォーシーズンズホテル上海、など万シャングリ・ラ香港店でキャリアを積み、現在に至ります。



トピックス

『リッツ・カールトンとBARで学んだ高野式イングリッシュ』を出版
～第1期生 高野登氏～



元ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー日本支社長の高野登氏(本校第1期生)が『リッツ・カールトンとBARで学んだ高野式イングリッシュ』(ダイヤモンド社)を出版しました。

高野 登氏

リッツ・カールトン退社後、2010年、「人とホスピタリティ研究所」を設立。





財団ニュース

ホテルビジネス実務検定(H検)受験者総数が2万4千人を突破 ～ホテル教育のスタンダードとしての期待がさらに高まる～

当財団主催のH検は、1999年の開始以来、2010年度で受験者総数（累計）が24,000人を突破しました。ホテルビジネス実務検定試験は、ホテル実務知識の体系的な習得度と自己学習目標への到達度を客観的に測る資格として、これまで大手外資系不動産会社系列ホテルチェーンをはじめとする多くのホテル企業・観光専攻の専門学校・大学・短大で導入され、ホテル教育のスタンダードとして確立しつつあります。

ホテル産業経営塾・マイス(MICE)塾 ～2012年生募集中～

「ホテル産業経営塾」

業界団体代表者、ホテル経営者、学識経験者、メディアなどで構成される評議員会が運営を支援する、新世紀のホテリエ(hotelier)育成を目指す新しいタイプの「経営塾」です。



単なるホテル経営・運営の「授業」だけではなく、直面する様々な課題に塾生自らが取り組む「研鑽」の場を目指すことで、厳しいビジネス環境下でも動じない「舵取りに長けた産業人」の育成を目的としています。

期間

- ・2012年5月～2013年3月 全17回
- ・原則として、毎月第2・第4金曜日

■詳細は：<http://www.jec-jp.org>

「マイス(MICE)塾」

MICEビジネスの開発には、ホテルのリソースを最大限かつ効果的に活用し収益を引き出す横断的な思想に根ざしたマネジメント能力が不可欠です。市場の現在・未來の変化を捉え、塾生の皆さんとインタラクティブなコミュニケーションを実践しながら、MICEの本質・仕組みを理解し、スグに役立つ講座を実現します。

MICEビジネスは、今後インバウンドも含め大変展望の明るいビジネスです。

期間

- ・2012年5月～2013年3月 全17回
- ・原則として、毎月第1・第3金曜日

教育事業室 TEL：03-3367-5663



日本旅館国際女将会

～東日本大震災の被災地 宮城県本吉郡南三陸町を視察～

日本旅館国際女将会による12月定例会が、東日本大震災の被災地、宮城県本吉郡南三陸町の「南三陸 ホテル観洋」で12月6日に開催されました。被災地視察及び慰問を目的として、この地が開催地として選ばれ、当日は22名が参加しました。

今回は「南三陸 ホテル観洋」の女将阿部憲子さんから震災当時の対応についてお話をありました。震災当日、同ホテルは幸いにも大きな被害を免れ、宿泊客や地元民ら約350人の安全を確保しました。

その後、5月から約600人の避難者を約6か月間にわたりホテルに迎えました。大局に立って陣頭指揮を執った女将

阿部憲子さんの対応は、高く



「ホテルビジネス実務検定」

「ホテルビジネス実務検定は」宿泊・料飲・宴会といったサービスオペレーションから、マーケティング・総務人事・経理会計などのマネジメント業務まで、ホテル業務に必要な実務知識を、体系的に習得し、自己学習目標への到達度を把握することを本検定の目的としています。

詳細は：<http://www.jec-jp.org/hken/index.html>



トピックス

和食検定が紹介されました ～夕刊フジ「検定の花道」～

2011年11月4日の夕刊フジ「検定の花道」で和食検定が紹介され、下記のサンプル問題が掲載されました。

- 出世魚に該当しないものは、次のうちどれですか。
 - ① 鰯(かつお)
 - ② 鰆(ぼら)
 - ③ 鰈(すずき)
 - ④ 鰐(ぶり)
- 正月に使われる箸として適切なものは、次のうちどれですか。
 - ① 利休箸
 - ② 元禄箸
 - ③ 塗り箸
 - ④ 柳箸
- 料理を食べ終えた後の器の蓋の扱いで適切なものは、次のうちどれですか。
 - ① 蓋は開けたままにしておく。
 - ② 蓋は裏返して戻す。
 - ③ 蓋は元通りに戻す。
 - ④ 蓋は斜めにずらして戻す。

(正解と解説は <http://www.jec-jp.org/>)

和食検定試験日程

- 試験日：第3回基本レベル / 第2回実務レベル
2012年10月25日(木)
(2012年7月下旬より受付開始予定)
- 試験会場：検定本部が指定した場所
(東京／大阪／福岡／札幌)
- 検定料：基礎レベル 5,000円
実務レベル 8,000円

(詳細は <http://www.washokukentei.jp>)

◇◇◇ JHSたより 44号 ◇◇◇

編集責任者：石塚 勉
編集担当：黒沢由美子
連絡先：03-3360-8231 kurosawa@jhs.ac.jp